

4) 性フェロモン剤

昆虫の性フェロモンは一般に雌が放出し、雄がそれに引きつけられて雌を発見し、交尾する。

性フェロモン剤は、雌が放出する性フェロモンを合成し、ポリエチレンのチューブ（ディスペンサー）に封入したもので、これをほ場内に設置して性フェロモンを充満させることで雄が本当の雌を発見できなくして交尾を阻害し、次世代の幼虫密度を抑制するものである。効果の判定のため、使用ほ場にはフェロモントラップを設置し交信攪乱状況を把握する必要がある。

(1) 果樹関係

イ) モモシンクイガの防除

商品名：シンクイコンーL

作物名	使用目的	適用病害虫名	使用期間	10a 当り使用量	使用方法
果樹類	交尾阻害	モモシンクイガ	成虫発生初期～ 終期（5～11月）	100 本 (13g/100 本製剤)	本剤を枝に巻き付け 固定する。

- ・モモシンクイガの第1回発生前に使用を開始する（6月上旬頃）。
- ・直射日光を避け、ほ場内に均等に設置する。
- ・使用開始1～2年は殺虫剤散布の補助手段として考える。この期間発生が低く抑えられた場合は、翌年以降はモモシンクイガ用の殺虫剤を省略できる。

ロ) コスカシバの防除

商品名：スカシバコンL

作物名	使用目的	適用病害虫名	使用期間	10a 当り使用量	使用方法
果樹類 さくら	交尾阻害	コスカシバ	成虫発生初期から 終期	40 本～100 本 (8g/100 本製剤)	本剤を枝等に巻き付け 固定する。
かき		ヒメコスカシバ			

- ・コスカシバの成虫発生前に使用を開始する（6月中旬頃）。
- ・直射日光を避け、ほ場内に均等に設置する。

ハ) 複合交信攪乱剤

商品名：コンフューザーAA

作物名	使用目的	適用病害虫名	使用期間	10a 当り使用量	使用方法
果樹類	交尾阻害	モモシンクイガ ナシヒメシンクイ キンモンホリガ ミダレカクモンハマキ リンゴコカクモンハマキ リンゴモンハマキ	成虫発生初期から 終期	120 本～150 本 (52g/100 本製剤)	ディスペンサーを対象作物の 枝に挟み込み、または巻 き付け設置する。

商品名：コンフューザーR

作物名	使用目的	適用病害虫名	使用期間	10a 当り使用量	使用方法
果樹類	交尾阻害	モモシンクイガ ナシヒメシンクイ リンゴコカクモンハマキ ミダレカクモンハマキ リンゴモンハマキ	成虫発生初期か ら終期	100 本～120 本 (36g/100 本製剤)	ディスペンサーを対象作物の 枝に巻き付け、または挟み込 み設置する。

商品名：コンフューザーN

作物名	使用目的	適用病害虫名	使用期間	10a 当り使用量	使用方法
果樹類	交尾阻害	ナシヒメシクイ	成虫発生初期から終期	50 本～200 本 (52g/200 本製剤)	ディスペンサーを対象作物の枝に巻き付け、または挟み込み設置する。
		モモンクイガ [※] チャハマキ チャノコカクモンハマキ リンゴ [※] コカクモンハマキ リンゴ [※] モンハマキ		150 本～200 本 (52g/200 本製剤)	
すもも		スモモヒメシクイ		200 本 (52g/200 本製剤)	

商品名：コンフューザーMM

作物名	使用目的	適用病害虫名	使用期間	10a 当り使用量	使用方法
果樹類	交尾阻害	ナシヒメシクイ	成虫発生初期から終期	100 本～120 本 (55g/100 本製剤)	ディスペンサーを対象作物の枝に挟み込み、または巻き付け設置する。
		リンゴ [※] コカクモンハマキ モモハモク [※] リガ [※] モモンクイガ [※]			
		チャノコカクモンハマキ		120 本 (55g/100 本製剤)	

- ・園がまとまっているところ（1ha 以上）で、一斉に使用する。
- ・対象害虫の成虫発生前に処理する。
- ・使用量は、ほ場の立地条件（傾斜）、周囲の状況や風向などを考慮し、所定の範囲内で多めの量で処理するか、周辺処理を行うと効果的である。
- ・処理位置は、対象地帯の樹木などの枝に通常目通りの高さで取り付けるが、樹高が不均一の場合には高い位置（2.5～3.0m）にも取り付ける。
- ・本剤と殺虫剤を併用すると、対象害虫類に対して高い防除効果が期待できる。
- ・本剤の使用により、殺虫剤の削減が期待できる。

（２）野菜関係

商品名：コンフューザーV

作物名	使用目的	適用病害虫名	使用期間	10a 当り使用量	使用方法
野菜類 いも類 豆 類（種実） 花き類・観葉植物	交尾阻害	コナガ [※] オタバコガ [※] ハスモンヨトリ タナギ [※] ンウハ [※] イラクサ [※] ンウハ [※]	対象作物の栽培全期間	100 本～200 本 (41g/100 本製剤)	作物の生育に支障のない高さに支持棒等を立て支持棒にディスペンサーを巻き付け固定し圃場に配置する。
		シロイモシ [※] ヨトリ		100 本 (41g/100 本製剤)	

商品名：コナガコンープラス

作物名	使用目的	適用病害虫名	使用期間	10a 当り使用量	使用方法
コナガ [※] 、オタバコガ [※] 、ヨトウガ [※] が加害する農作物等	交尾阻害	コナガ [※] オタバコガ [※] ヨトウガ [※]	対象作物の栽培全期間	100～120 本 (22g/100 本製剤)	作物の生育に支障のない高さに支持棒等を立て支持棒にディスペンサーを巻き付け固定し圃場に配置する。

- ・設置面積が小さいとはほ場外部で交尾した雌が侵入しやすくなり、効果が劣る。
- ・設置面積が広いほど（おおむね 1ha 以上、少なくとも 30a 以上）、効果的である。
- ・対象害虫の成虫発生前に処理する。
- ・使用量は、ほ場の立地条件（傾斜）、周囲の状況や風向などを考慮し、所定量の 8 割程度をほ

場全体に均一に、2割程度をほ場の周辺部に処理すると効果的である。

- 作物の生育に支障のない高さに設置する。
- 本剤の使用により、殺虫剤の削減が期待できる。